

MBL

会社名 株式会社 医学生物学研究所
 代表者名 代表取締役社長 山田 公政
 (JASDAQ・コード4557)
 問合せ先 執行役員管理統括本部長 中井 邦彦
 電話番号 052-238-1901

営業外損失(為替差損)計上、および業績予想(連結・個別)の修正のお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)において、下記のとおり営業外損失(為替差損)を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 4 月 28 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外損失(為替差損)計上について

当第 4 四半期会計期間において、当社の保有する外貨建資産の評価により為替差損を計上いたしました。

会計期間における為替差損	51 百万円
累計期間における為替差益	3 百万円

2. 平成 29 年 3 月連結業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期連結業績予想の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,430	0	26	297	11.49
今回修正予想 (B)	7,348	85	64	188	7.27
増減額 (B-A)	△82	85	38	△109	
増減率 (%)	△1.1	—	146.2	△36.7	
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	8,056	△368	△449	△1,142	△44.17

(2) 連結業績予想修正の理由

連結業績予想につきましては、売上高は、中国子会社の販売が伸長したものの、当初予定していた国内子会社の再編を前倒したことなどによる影響で、前回発表予想を 82 百万円下回り、73 億 48 百万円となる見通しです。

営業利益は、売上高が当初見込みに達しなかったものの、当社および子会社で経費抑制を進めるなど経営の効率化を進めた結果、前回発表予想を 85 百万円上回り、85 百万円となる見通しです。

経常利益は、上記理由により営業利益が増益となったこと、および連結子会社の MBL ベンチャーキャピタルが運営するファンドの投資先の株式売却益を計上した一方で、4 月から持分法適用関連会社となった MBL International Corporation の決算期変更（12 月→3 月）に伴う営業外費用の取り込み期間が当初予定 9 ヶ月から 12 ヶ月になったこと、本日公表の為替差損を計上したことなどにより営業利益の増益分が圧縮され、前回発表予想を 38 百万円上回る 64 百万円となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、平成 28 年 7 月 26 日および平成 29 年 1 月 24 日に公表の特別損益を計上したほか、当社および子会社の開発拠点の統廃合に伴う固定資産の除却等を行ったことなどから、前回発表予想を 1 億 9 百万円下回り、1 億 88 百万円となる見通しです。

3. 平成 29 年 3 月個別業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期個別業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,273	168	122	4.72
今回修正予想 (B)	6,174	172	175	6.77
増減額 (B-A)	△99	4	53	
増減率 (%)	△1.6	2.4	43.4	
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	6,590	△65	△1,461	△56.52

(2) 個別業績予想修正の理由

個別業績予想につきましては、売上高、経常利益は前回発表予想とほぼ同水準となる見通しです。

当期純利益は、当社の開発拠点の統廃合に伴う固定資産の除却等を行ったほか、平成 28 年 7 月 26 日および平成 29 年 1 月 24 日に公表の特別損益を計上したことから、前回発表予想を 53 百万円上回る 1 億 75 百万円となる見通しです。

※本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上